

FavorPrep™ Total RNA Plus Mini Kit

Cat: FATRK-P 004 (4 回分) / FATRK-P 050 (50 回分) / FATRK-P 100 (100 回分)

本製品は研究用です

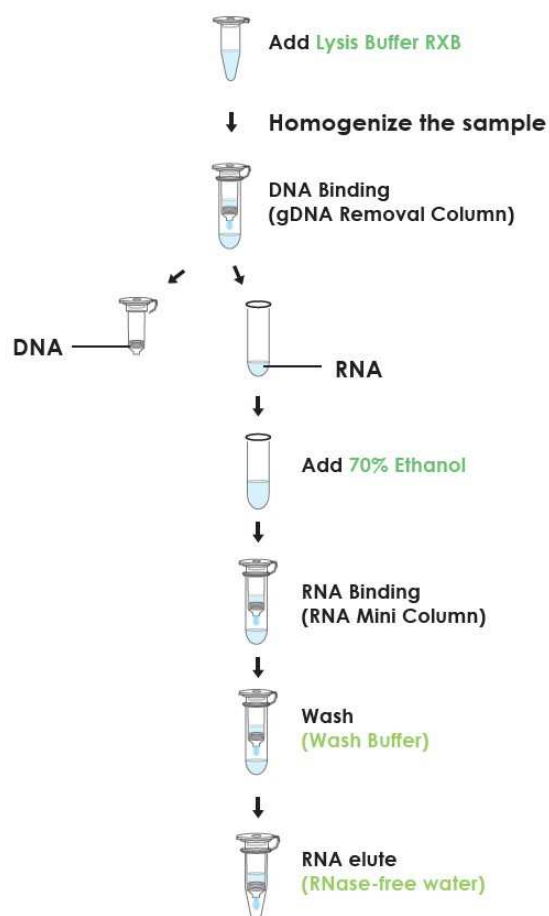
v 221104

📌 キットの内容

	FATRK-P 004 (4 preps_sample)	FATRK-P 050 (50 preps)	FATRK-P 100 (100 preps)
Lysis Buffer RXB	1.6 ml	20 ml	40 ml
Wash Buffer (concentrated) *	1.5 ml	15 ml	35 ml
RNase-free Water	0.5 ml	6 ml	6 ml
gDNA Removal Column (green)	4 pcs	50 pcs	100 pcs
RNA Mini Column	4 pcs	50 pcs	100 pcs
Collection Tube	12 pcs	150 pcs	300 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加する 96-100%エタノール量			
Wash Buffer (concentrated) *	6 ml	60 ml	140 ml

📌 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピナラム)
サンプル量	動物細胞: 最大 1×10^7 cells 組織: 最大 30 mg
溶出量	30~50 μ l



重要事項

1. 基本情報に記載されている最大推奨サンプル量を超えないようにしてください。
2. 操作に関連するものは、RNase-free であることを確認してください。
3. 作業はゴム手袋、白衣を着用して行ってください。
4. β -メルカプトエタノールは人体に有害です。操作時にはドラフトチャンバーをご使用ください。
5. Wash Buffer 開封時に必要量の RNase-free エタノール (96-100%) を加えてください。

準備するもの

全プロトコール共通

- ・滅菌済みピペット、ピペットチップ、遠心チューブ (1.5 ml、2.0 ml)
- ・96-100%エタノール (Wash Buffer の調製用)
- ・18,000 \times g まで到達可能な遠心分離機と、1.5 ml または 2.0 ml 用ローター
- ・ β -メルカプトエタノール、70%エタノール (RNase-free)
- ・破砕機 もしくは 20G の注射針を装着したシリンジ

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

<動物細胞>

1. 4°C、300 \times g で 5 分間遠心分離し最大 1×10^7 個の細胞を回収します。上清を取り除きます。
350 μ l の Lysis Buffer RXB と 3.5 μ l の β -メルカプトエタノールをペレットに加えます。1 分間ボルテックスし、細胞を完全に再懸濁します。
メモ: サンプルが多すぎると、溶解が不完全になり RNA の収量・精製度低下につながります。
2. サンプルを破砕機もしくは 20 G の注射針を装着したシリンジに 10 回通してホモジナイズします。
重要なステップ! : サンプルからより多くの RNA を放出するために、適切な破砕機 (回転式ホモジナイザーなど) を使用することを推奨します。
3. 室温で 5 分間インキュベートします。
4. gDNA Removal Column を Collection Tube にセットし、サンプル溶解液を加えます。
5. 最大速度 (~18,000 \times g) で 1 分間遠心分離します。遠心分離後、Collection tube 内のろ液は捨てないでください。
6. ステップ 5 で得られたろ液の上清を 1.5ml チューブ (お客様でご用意ください) に移します。サンプルの体積を量ります。
7. サンプルと同量の 70%エタノールを加え、十分にボルテックスします。
例: ステップ 6 の上清 330 μ l に 70%エタノール 330 μ l を加えます。
8. RNA Mini Column を Collection Tube にセットし、サンプル混合物を RNA Mini Column に移します。
9. 最大速度 (~18,000 \times g) で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、RNA Mini Column を Collection Tube に戻します。

10. RNA Mini Column に 500 μ l の Wash Buffer を加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。RNA Mini Column を Collection Tube に戻します。
注意！：初回使用時は、Wash Buffer にエタノールが添加されていることを確認してください。
11. ステップ 10 を繰り返します。
12. RNA Mini Column を最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) でさらに 3 分間遠心分離し、乾燥させます。
重要ステップ！：この操作は酵素処理を阻害する物質を取り除くために重要です。
13. RNA Mini Column を Elution Tube (キットに付属) へ取り付けます。
14. 30 \sim 50 μ l の RNase-free ddH₂O を RNA Mini Column の膜中央に加え、室温で 1 分間静置します。
重要ステップ！：効率よく溶出させるため、RNase-free ddH₂O を完全に吸着させてください。
* 30 μ l より少量で溶出した場合、収量が低下する恐れがあります。
15. RNA Mini Column を最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、RNA を溶出させます。RNA は -80°C で保存します。

<動物組織>

必要なもの：液体窒素、乳鉢、乳棒

1. 最大 30mg の組織サンプルを液体窒素と乳鉢、乳棒で粉碎し、新しいチューブ (お客様でご用意ください) に移します。350 μ l の Lysis Buffer RXB と 3.5 μ l の β -メルカプトエタノールを加えます。
メモ：計量や粉碎時にサンプルが溶けないようにしてください。
メモ：サンプルが多すぎると、溶解が不完全になり RNA の収量・精製度低下につながります。
2. サンプルを破砕機もしくは 20 G の注射針を装着したシリンジに 10 回通してホモジナイズします。
3. <動物細胞>のステップ 3 へ進んでください。